

長崎大学経済学部

学術・研究活動及び学外活動報告

平成27年度

赤石 孝次

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本財政学会理事(2012年～)
- <国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎市上下水道事業運営懇話会委員(2014年～)

庵谷 治男

[学術・研究活動]

<著書>

- ・「第5章 サービス提供プロセスに基づく業績管理システム」(共)『サービス・リエンジニアリング - 顧客の感動を呼ぶホスピタリティを低コストで実現する』, 中央経済社, 2016年1月.

<論文>

- ・「TDABC 研究の体系化と方向性 - 国内研究および海外研究のレビューを中心に」(単)『メルコ管理会計研究』8- 号, 2015年11月.

<科研費(採択のみ)>

- ・「マネジメント・コントロール・システムの動態的变化に関する研究」(若手研究B)(単)2013年4月～2016年3月.

<外部競争的資金(採択のみ)>

- ・「アメーバ経営導入組織における管理会計実践と全員参加経営」(単)2014年7月～2015年6月.

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本管理会計学会, 参事, 2014年4月～2017年3月.

岡田 裕正

[学術・研究活動]

<研究ノート>

- ・「二つのタイプの収支計算書」(単), 『経営と経済』95巻1・2号, 2015年9月25日。

<学会発表>

- ・「会計基準の標準化と会計実務の多様化の可能性」(単), 第30回会計理論学会統一論題, 2015年10月11日, 駒澤大学。

[学外活動]

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

- ・第11回アジア金融市場国際会議, 事務局, 2015年12月19日・20日, 長崎大学経済学部。

<公開講座・市民講座>

- ・「高校生公開講座 経済学部で学ぶ社会科学入門」, 「長崎大学経済学部の特色と取組」, 2015年8月5日, 長崎大学経済学部。

小野 哲

[学術・研究活動]

<学会などの委員として活動>

- ・日本会計研究学会九州部会幹事

小野 康子

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・“ How is the national language, Thai, acquired by school children of the highland communities in Thailand ?-Influential factors and Impacts, ”(単) The 59th World Assembly of International Council on Education for Teaching, 2015年6月21日, 鳴門教育大学

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・佐賀大学公開講座『みんなの大学』, 「パキスタンってどんな国? JICA 青年海外協力隊の経験から」, 2015年11月30日, 佐賀大学

河津 基

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・「台湾人学習者における漢字語の発音に見られる母語の音韻の干渉 - 母音長の分析を中心に - 」(共), 第29回日本音声学会全国大会, 2015年10月3日, 神戸大学。

工藤 健

[学術・研究活動]

<科研費(採択のみ)>

- ・「不完全情報, 限定合理性と経済政策効果: 複眼的アプローチによる検証」(単), 平成25~28年度。

式見 拓仙

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「一様分布族のもとでの事後分布に対する大偏差原理」(単)『経営と経済』第95巻第3・4号, 2016年3月。

<学会発表>

- ・“ An application of Laplace’s method to the large deviation principles for posterior distributions ”(単), 統計関連学会連合大会(日本統計学会第83回大会), 2015年9月9日, 岡山大学(津島キャンパス)。

式見 雅代

[学術・研究活動]

<ワーキング・ペーパー>

- ・“ Bank Relationships and Cash Holdings: Evidence from Emerging Firms in Japan ”, (単), SSRN, September 30, 2015. <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.2669922>.

- ・“ Trade and Financial Channels as the Transmission Mechanism of the Financial Crisis ”, (共), SSRN, January 30, 2016. <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.2725279>.

<科研費(採択のみ)>

- ・「企業の金融契約の動態的变化と企業ダイナミクス」(単), 2014年4月~2017年3月。

< 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） >

- ・ “ Financial Shock Crosses the Sea: Influence of US Financial Crisis on Asian Firms’ Financial Behavior ”, (共), 九州ファイナンス研究会, 2015年8月24日, 九州大学。
- ・ “ Do Business Group Types Matter? Reallocation of Capital during the Global Financial Crisis ”, (共), 現代ファイナンス研究センター, 2016年3月7日, 東京経済大学。
- ・ “ Trade and Financial Channels as the Transmission Mechanism of the Financial Crisis ”, (共), 日本政策投資銀行設備投資研究所アカデミックセミナー, 2016年3月8日, 日本政策投資銀行設備投資研究所。

< 学会発表 >

- ・ “ Bank Relationships and Cash Holdings: Evidence from Japanese Firms ”, (単), 日本金融学会2015年度春季大会, 2015年5月16日, 東京経済大学。
- ・ “ Bank Relationships and Cash Holdings: Evidence from Japanese Firms ”, (単), The 7th International Finance and Banking Society Conference, June 29, 2015, Zhejiang University, Hangzhou, China.
- ・ “ Bank Relationships and Cash Holdings: Evidence from Japanese Firms ”, (単), IFABS 2015 Corporate Finance Conference, September 12, 2015, Säid Business School, Oxford University, UK.
- ・ “ Financial Shock Crosses the Sea: Influence of US Financial Crisis on Asian Firms’ Financial Behavior ”, (共), The 11th International Conference on Asian Financial Markets and Economic Development, December 19, 2015, Nagasaki University, Japan.

宍倉 学

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・ “ *An Estimation of marginal WTP for Variety in the Broadcasting Platform*, ” (共) The Smart Revolution Towards the Sustainable Digital Society: Beyond the Era of Convergence. Edward Elger Publishing H. MITOMO, H. FUKE and E. BOHLIN edit. 2015.

< 学会発表 >

- ・ “ *Demand Analysis for Time-Shifted Viewing in Japanese TV market*, ” (共) International Telecommunications Society, Regional Conference, 2015/10/28 at Los Angeles, CA, USA.
- ・ 「見逃し視聴サービス」に対する視聴者選好分析」(共) 2015年度秋季（第33回）情報通信学会大会, 2015年11月27日, 日経カンファレンスルーム（東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル6階）

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・ 『情報通信学会誌』編集委員（2015年7月～現在）

< 国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員 >

- ・ 長崎ケーブルメディア番組審議委員（2012年6月～現在）
- ・ 総務省情報通信政策研究所客員研究官（2012年4月～現在）
- ・ 長崎市建築審査会委員（2013年7月～現在）
- ・ 長崎市行政改革審議会委員（2015年4月～現在）

島田 章

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・ “ The Effects of Migration Possibilities on Human Capital Formation under the Pecuniary Cost for Receiving Education and the Intergenerational Externality ” (共著), 『佐賀大学経済論集』, 48巻3号, pp.27-54, 2015年9月.
- ・ “ Parental Migration, Unpaid Child Labour, and Human Capital ” (単著), *International Journal of Social Economics*, Vol.42, Issue 10, pp.906-920, November 2015.

< 学会発表 >

- ・“ Wage Disparities and Internal Migration Patterns ” (単独) , Third International Conference on Asian Studies 2015 , 国際大学 , 2015年 6 月21日 .
- ・“ Wage Disparities and Internal Migration Patterns ” (単独) , The International Conference of the Association of Korean Economic Studies (AKES) on Korea and the World Economy XIV : ‘ New Challenge for the Korea and China Cooperation, the World Economy in the Era of Globalization and Polarization ’ , Metro Park Lido Hotel Beijing, Beijing, China , 2015年 8 月 8 日 .
- ・“ Wage Disparities and Internal Migration Patterns ” (単独) , The 17th Annual Conference of the European Trade Study Group (ETSG) , Université Paris 1 Panthéon-Sorbonne, Paris, France , 2015年 9 月11日 .
- ・“ Do ageing societies need more immigrants to provide the elderly with care? ” (共同) , 日本経済学会 2015年度秋季大会 , 上智大学 , 2015年10月10日 .

< 科研費 (採択のみ) >

- ・「 国際労働移動と児童労働からの接近による途上国の貧困問題解消に関する理論研究 」 基盤研究 (C) (単独) , 平成27年度から平成31年度まで .

徐 陽

[学術・研究活動]

< 著書 >

- ・徐陽 (査読無) 「 企業の計算・公開 」 『 アクチュアル企業法 』 の第 3 部株式会社法第27章所収 (290-308 頁) 2016年 4 月
- ・徐陽 (査読無) 「 決算手続 」 「 精算表 」 「 財務諸表 」 『 入門テキスト商業簿記 』 の第12章 ~ 第14章所収 (91 -136頁) 2015年 9 月

< 論文 >

- ・王宝宝 , 徐陽 「 IFRS 導入による企業結合の会計処理への影響 - のれんを中心に - 」 (査読無) 『 経営と経済 』 長崎大学経済学会第95巻第 3 ・ 4 号 (117-133頁) 2016年 3 月
- ・徐陽 (査読無) 「 中国における公認会計士の民事責任追及のための社会的基盤の研究 」 『 法制研究 』 九州大学法政学会第82巻第 2 ・ 3 号論説 (309-332頁) 2015年12月25日

白水 桂子

[学術・研究活動]

< 学会発表 >

- ・「 広告表現のメタファー 」 (単) , 国際ビジネスコミュニケーション学会九州山口支部 , 2016年 3 月12日 , 久留米大学福岡サテライト .

須齋 正幸

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・Susai, M., and Y.Yoshida, “ We missed it again! Why Do So Many Market Orders in High-Frequency FX Trading Fail to Be Executed? ” In: Greg N. Gregoriou (ed.) , *Handbook of High Frequency Trading*, Academic Press, Elsevier, pp.215-235 , 2015
- ・Chen, T. , Wong, K.H.Y. , and M. Susai , “ Active Management and Price Efficiency of Exchange-traded Funds, ” *Prague Economics Papers*, Vol.25 , No.1 , pp.3-18 , 2016
- ・Susai, M. , “ Limit Order, Market Order and Cancellation in Foreign Exchange Market: One particular Day, ” *Journal of Business and Economics (Keiei to Keizai)* , Vol.95 , No.3/4 , pp.135-172 , 2016

< 科研費（採択のみ） >

・「基盤研究（B）集合行動バイアスに基づく外国為替市場の変動要因分析：実験・実証・人工市場を用いて」（共・研究代表者）2014年～2018年

< 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） >

・「Stepping out of limit order markets: Evidence from the EBS FX market」, 「外国為替指値注文市場（LIMIT DER MARKET）セミナー」, 九州産業大学, 2016年3月23日

[学外活動]

< 国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員 >

・長崎県行財政改革懇話会 会長（2015年～）

・文部科学省・独立行政法人日本学生支援機構 グローバル人材育成コミュニティ協議会・実施委員会委員（2014年～）

・文部科学省（官民協働海外留学推進戦略本部・官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～）選考委員会委員（副主査），専門選考委員（主査），高校生部会長（2014年～）

・公益社団法人 松藤奨学育英基金 理事（2014年～）

< 講演会（社会的要請に基づく） >

・「国際業務における危機管理」『国立大学留学生センター長会議』2015年11月6日（於：琉球大学）

薛 軍

[学術・研究活動]

< 著書 >

・川村雄介編集『図説アジアの証券市場2016版』（共著），公益財団法人日本証券経済研究所出版，2016年3月

< 論文 >

・RMB internationalization roadmap and China regional integration strategy, 『経営と経済』第95巻第1・2号, 2015年9月

< 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） >

・パネリスト，中華人民共和国駐長崎総領事館開設30周年・ジェットロ長崎開設50周年記念国際シンポジウム「上海・中国の未来と長崎の国際展開」, ジェトロ・アジア経済研究所，ジェットロ・長崎，中華人民共和国駐長崎総領事館共同主催，2015年6月11日

・報告，「中国一帯一路戦略の実態について」, 日本証券経済研究所アジア資本市場研究会主催，東京証券会館3階会議室，2015年12月25日

土橋 力也

[学術・研究活動]

< 論文 >

・“First-mover advantage revisited: A systematic review and directions for future research,” (単) *Journal of Business and Economics* (『経営と経済』), Vol. 95, No. 1-2, pp. 167-196.

・“Incumbent firms’ success in adopting radical innovation: Case of Olympus Corporation, Japan,” (共著) *Proceeding of Asia-Pacific Symposium on Social Science and Management, Singapore*, pp. 217-228.

鶴田 仁

[学術・研究活動]

< 論文 >

・「WTO 及び FTA/EPA の関税譲許における HS 品目表の役割に関する考察」(単), 『経営と経済』第95巻第3・4合併号, 2016年3月。

<学会発表>

- ・「WTOと各EPAのセーフガード措置の発動のあり方」(単), 日本貿易学会西部部会研究会(九州), 2015年10月17日, 福岡ガーデンパレス。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・財務総合研究所, コンサルティング・フェロー, 2015年8月から2017年7月。

仲井 幹也

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「ニーチェの高等教育論について」(単), 『経営と経済』第95巻第3・4号, 2016年3月

<学会発表>

- ・「ニーチェの同情批判論について」(単), 日本独文学会, 2015年10月4日, 鹿児島大学

中西 善信

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「実践共同体の次元と類型化」(単), 『日本労務学会誌』第16巻第1号, 平成27年6月。

<学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>

- ・「航空機ナビゲーションの技術革新と課題」, (単) OR学会九州支部, 平成27年7月18日, 長崎大学。

<学術賞の受賞>

- ・IASTEM Excellent Paper Award (Best Presentation / Best Content), “Knowledge transfer through communities of practice: Diffusion of new technology in the international civil aviation domain”, (単) International Academy of Science, Technology, Engineering and Management (IASTEM), 平成28年2月14日。

<学会発表>

- ・「正統性獲得行動のジレンマの発生メカニズム: 公共調達制度改革を例に」(単), 経営行動科学学会, 平成27年11月14日, 愛知大学。
- ・“Knowledge transfer through community of practice: Diffusion of new technology in the international civil aviation domain”(単), IASTEM-14th International Conference on Economics and Business Management (ICEBM), 平成28年2月14日, Bangkok, Thailand。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・国土交通省航空局 未来の航空交通システムに関する長期ビジョン(CARATS)PBNワーキンググループ委員, 同 高規格RNAV検討サブグループ委員, 同 小型機用RNAV検討サブグループ委員, 2015年4月~。

成田 真樹子

[学術・研究活動]

<学会発表>

- ・“A study on the Great Recession and Spanish labour market”(単), Association for Contemporary Iberian Studies 37th Annual Conference, September 4th, 2015, Autonomous University of Madrid, Madrid, Spain.

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県開発審査会委員, 2014年9月1日~2016年8月31日。

- ・長崎市住民基本台帳ネットワークシステム管理運用審議会委員長，2015年7月1日～2017年6月30日。
- ・長崎県建築審査会委員，2015年8月1日～2017年7月31日。
- ・長崎税関税関モニター，2015年10月14日～2016年6月30日。
- ・長崎市都市再生整備計画事業評価委員会委員，2015年12月1日～2017年11月30日。
- <公開講座・市民講座>
- ・『長崎県高大連携事業』「自由貿易は良いことか？」，2015年7月4日，長崎県立壱岐高校。

林 徹

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「起業と強い紐帯」(単)，『経営と経済』第95巻第3・4号，1-24頁，2016年3月。

<科研費(採択のみ)>

- ・「潜在的起業家への社会的評価」挑戦的萌芽研究26590060(単)，2014年4月-2017年3月。

<学会発表>

- ・「萌芽的起業家への社会的評価」(単)，組織学会九州支部例会，2015年3月29日，九州大学。
- ・「萌芽的起業家への社会的評価」(単)，組織学会研究発表大会，2015年6月20日，一橋大学。
- ・「起業過程における『強い紐帯』の役割」(単)，企業家研究フォーラム，2015年7月18日，大阪大学。
- ・「起業過程における支援と愛情」(単)，日本経営学会全国大会，2015年9月5日，熊本学園大学。

[学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・厚生労働省，長崎地方最低賃金審議会，公益代表委員，2015年4月-2017年3月。
- ・長崎市，長崎市雇用問題審議会，会長，2014年4月-2016年3月。
- ・一般財団法人クリーンながさき，理事，2017年5月まで(設立時より重任)。

<公開講座・市民講座>

- ・『出前講義』，「現役学生の紹介，学部・学科の違い，二要因理論」，2015年9月24日，福岡県立三池高等学校。
- ・『出前講義』，「現役学生の紹介，学部・学科の違い，二要因理論」，2015年10月16日，熊本市立必由館高等学校。
- ・『高大連携授業』，出前講義(大学セミナー)，「現役学生の紹介，学部・学科の違い，二要因理論」，2015年10月22日，長崎県立西陵高等学校。
- ・『高大連携授業』，出前講義，「現役学生の紹介，学部・学科の違い，二要因理論」，2015年11月12日，長崎県立対馬高等学校。

福澤 勝彦

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「中国大学生の就職意識と職探し行動 - 日中の比較」(共)，『熊本学園大学経済論集』第22巻第1-2合併号 荒井勝彦教授退職記念号，pp.65-92，2015年10月

<科研費(採択のみ)>

- ・「ネットワーク分析手法による地域間比較可能な総合的社会指標構築の研究」基盤研究(B)，2011年4月～2016年3月(分担)代表丸山幸宏
- ・「貿易シェイドパターン解析と実態調査による次世代中間財貿易モデルの構築」基盤研究(C)，2014年4月～2018年3月(分担)代表藤田涉

<学会発表>

- ・「対外直接投資の動向 - 拠点形成と人的資源 -」(共)，九州経済学会第65回大会，2015年12月5日，鹿児島大学

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本応用経済学会理事 継続中

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県労働委員会委員(公益委員・会長代理) 継続中

- ・長崎行政評価事務所, 行政懇談会構成委員 継続中

- ・長崎地方労働審議会(公益委員・会長) 継続中

- ・長崎保護司選考会委員 継続中

<公開講座・市民講座>

- ・長崎市北公民館『茶の間の経済学』, 「長崎大学経済学部の地域貢献」, 2015年5月23日, 長崎市北公民館

- ・長崎大学公開講座『地域連携の現状と課題～長崎大学経済学部は如何に地域と繋がるか』, 「産学官連携・地域連携における経済学部の役割」, 2015年10月28日, 長崎大学経済学部

藤田 泰昌

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“The Asia-Pacific Values Survey 2010-2014: A Cultural Manifold Analysis of National Character”(共), *Behaviormetrika*, Vol.42, No.2, 2015年7月。

- ・“Examining People’s Attitudes and Values Relating to International Relations in the Asia-Pacific Region”(単), *Behaviormetrika*, Vol.43, No.1, 2016年3月。

<書評>

- ・「稲葉陽二・大守隆・金光淳・近藤克則・辻中豊・露口健司・山内直人・吉野諒三著『ソーシャル・キャピタル:「きずな」の科学とは何か』ミネルヴァ書房2014年」『行動計量学』第42巻第2号, 2015年9月。

<外部競争的資金(採択のみ)>

- ・統計数理研究所公募型共同利用「多文化社会における社会調査に関する考察」(単), 2015年4月-16年3月。

<学会発表>

- ・「言語の問題はどのような質問項目への回答に影響を与えるか: 多言語社会での社会調査に関する一考察」(単), 日本行動計量学会, 2015年9月2日, 首都大学東京。

- ・「シグナリングとしての靖国参拝 日本のリーダーは、いつ、なぜ、あえて靖国神社を参拝するのか」(単), 日本国際政治学会, 2015年10月30日, 仙台国際センター。

- ・“Examining a Methodological Problem of Social Surveys in Multilingual Societies: Response Patterns and the Language Gap between Respondents and Interviewers”(単), 13th East Asian Sociologists’ Network Conference, 2015年11月15日, 横浜国立大学。

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・『行動計量学』, 編集委員, 2015年5月～。

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本行動計量学会, 広報委員会, 委員, 2015年5月～。

<公開講座・市民講座>

- ・出前講義, 「安保法制は日本を平和・安全にするの?」, 2015年7月4日, 熊本県立第二高等学校。

藤田 涉

[学術・研究活動]

< 科研費（採択のみ） >

- ・「貿易シェイドパターン解析と実態調査による次世代中間財貿易モデルの構築」(共, 代表者), 平成26~31年度。
- ・「ネットワーク分析手法による地域間比較可能な総合的社会指標構築の研究」(共), 平成23~27年度。

< 学会発表 >

- ・「対外直接投資の動向：拠点形成と人的資源」(共), 九州経済学会第65回大会, 平成27年12月5日, 鹿児島大学法文学部。

< 辞書および総説（学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等） >

- ・「「産業」この分野を読む」・「「産業」用語解説」(単), 『現代用語の基礎知識2016』(自由国民社), 平成27年11月。

[学外活動]

< 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >

- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) ピアレビュー, 平成23年4月~平成28年3月。
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術委員, 平成26年10月~平成28年1月。

古村 由美子

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・「Improving the L2 literacy skills of Japanese university students」(単著), 『*The proceedings of 2015 PKETA-GETA Joint International Conference*』38-42, 2015年10月。
- ・「長崎大学経済学部「国際ビジネス (plus) プログラム」におけるグローバル人材育成実践例」(単著), 『グローバル人材育成教育学会第2回九州支部大会抄録』21-22, 2015年5月。

< 報告書 >

- ・『科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書』(単), 日本学術振興会, 2015年5月。

< 翻訳 >

- ・「相互文化的能力を育む外国語教育 グローバル時代の市民性形成をめざして」(共訳), 大修館書店, 2015年7月。

< 学術研究講演 >

- ・「*Improving the L2 literacy skills of Japanese university students*」, An invited speech at 2015 PKETA-GETA Joint International Conference, 2015年10月17日, Pusan National University.

< 学会発表 >

- ・「*Voices of university students about study abroad and their Intercultural Communicative Competence*. Paper presented in a Symposium *Intercultural Communicative Competence and Study Abroad* organized by Celeste Kinginger, Etsuko Kakimoto, Toshihiro Shimizu, Yumiko Furumura」(共), The JACET 54th International Convention, Kagoshima, 2015年8月29日, 鹿児島大学。
- ・『国際ビジネスプログラム』における英語教育とその効果について」(単), 第154回東アジア英語教育研究会, 2015年6月20日, 西南学院大学。
- ・「長崎大学経済学部「国際ビジネス (plus) プログラム」におけるグローバル人材育成実践例, シンポジウム『大学のグローバル化・新たな展開』(パネリスト; 小松俊明・川端清隆・佐々木有紀・古村由美子・鞍掛哲治)」(共), グローバル人材育成教育学会第2回九州支部大会, 2015年5月16日, 日本文理大学。

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・『グローバル人材育成教育学会紀要』, 査読委員, 平成25年9月より現在

<学会などにおける委員としての活動>

- ・外国語教育メディア学会 (LET), 九州沖縄支部運営委員・評議員, 学会運営, 平成21年4月～平成30年3月
- ・外国語教育メディア学会 (LET), 九州沖縄支部メルマガ委員, メルマガ編集, 平成21年6月～平成28年3月
- ・大学英語教育学会 (JACET), 九州沖縄支部研究企画委員, 学会運営, 平成22年4月より現在
- ・グローバル人材育成教育学会, 理事, 学会運営, 平成26年10月より現在

松木 佑介

[学術・研究活動]

<論文>

- ・Matsuki, Y. and S. Managi, (2016) "The Impact of Natural Disasters on Manufacturing: Plant-level Analysis for the Great Hanshin-Awaji Earthquake," *The Singapore Economic Review*, 61(1), 1640010.

村田 省三

[学術・研究活動]

<研究ノート>

- ・「コミットメントゲームと Deletion」(単独), 『経営と経済』95巻3・4号, 2016年3月。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本応用経済学会, 理事, 平成26年～現在。
- ・日本経済政策学会, 理事, 平成26年～現在。

森保 洋

[学術・研究活動]

<論文>

- ・"Disclosure Information, Press Coverage, and Their Influence on Market Liquidity: Evidence from Japan," (co-authored Hiroyuki Aman), *Proceedings of the 27th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues*, November, 2015
- ・"Corporate Advertisements and the Investor Attention Effect: Evidence from the Television Commercials," (co-authored Hiroyuki Aman and Norihiro Kasuga), *Proceeding of the 28th Australasian Finance and Banking Conference*, December, 2015
- ・「先物市場における高速取引が現物市場の流動性に与える影響」(単独), 『経営と経済』第95巻3・4号, 2016年3月

<ワーキング・ペーパー>

- ・"Volatility and Public Information Flows: Evidence from Disclosure and Media Coverage in the Japanese Stock Market," (co-authored Hiroyuki Aman), SSRN Working paper, <http://dx.doi.org/10.2139/ssrn.2220603>

<科研費(採択のみ)>

- ・「高速取引時代における現物市場と派生証券市場の関係: 高頻度データを利用した実証分析」(単独), 2014～2016年度

<外部競争的資金(採択のみ)>

- ・「高速取引の普及が個人投資家の投資環境にもたらす影響」(単独), 2015年8月～2016年7月

<学会発表>

- ・"Disclosure Information, Press Coverage, and Their Influence on Market Liquidity: Evidence from Japan," (co-authored Hiroyuki Aman), *The 27th Asian-Pacific Conference on International Accounting*

Issues, November 3, 2015, Gold Coast, Australia

- ・「派生証券市場の取引環境変化が現物市場の価格形成に与える影響」第84回証券経済学会全国大会，2015年11月8日，山口大学
- ・“Corporate Advertisements and the Investor Attention Effect: Evidence from the Television Commercials,” (co-authored Hiroyuki Aman and Norihiro Kasuga), *The 28th Australasian Finance and Banking Conference*, December 18, 2015, Sydney, Australia

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・九州経済学会，理事，2015～2016年度

山田 和郎

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ Kistna, Kenji, Smith, Janet, Smith, Richard, and Yamada, Kazuo (2016) “Supply-chain spillover effects of IPOs” *Journal of Banking & Finance* 64(3), 150-168. 共著
- ・ Takahashi, Hidenori and Yamada, Kazuo (2015) “IPOs, growth, and the impact of relaxing listing requirements” *Journal of Banking & Finance* 59, 505-519. 共著

<ワーキング・ペーパー>

- 1 . Shikimi, Masayo and Yamada, Kazuo (2015) Trade and Financial Channels as the Transmission Mechanism of the Financial Crisis, *SSRN Discussion Paper Series*. 共著
- 2 . Koda, Keiichiro and Yamada, Kazuo (2015) She’s Got a Ticket to Underwrite: How Do Banks Expand Their Market Share When They Enter the Underwriting Market? *SSRN Discussion Paper Series*. 共著

<学会発表>

- ・ What Causes *Zombie* Lending? Impact of the Supply-Chain Network and Firm’s Liquidity Shocks on Bank’s Lending Contracts, *IFABS*, 2015/06/28, Hangzhou, China
- ・ Cash is King against the Crush and what it Brings, *Japan Finance Association Finance Camp* 2015/07/11, Shizuoka, Japan
- ・ Financial shock crosses the sea: Influence of US financial crisis on Asian firms’ financial behavior, *IFABS Corporate Finance*, 2015/09/12, Oxford, UK
- ・ What Causes *Zombie* Lending? Impact of the Supply-Chain Network and Firm’s Liquidity Shocks on Bank’s Lending Contracts, *Financial Management Association*, 2015/10/16, Florida, US
- ・ What Causes *Zombie* Lending? Impact of the Supply-Chain Network and Firm’s Liquidity Shocks on Bank’s Lending Contracts, *World Finance & Banking Symposium*, 2015/12/17, Hanoi, Vietnam
- ・ Trade and Financial Channels as the Transmission Mechanism of the Financial Crisis, *International Conference on Financial Risks and Their Management* 2016, 2016/03/09, Kyoto, Japan

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 日本経営財務研究学会 幹事 ～2016年10月
- ・ Asian Finance Association, *Program Committee*
- ・ World Finance Conference, *Program Committee*
- ・ Financial Management Conference Europe, *Program Committee*

吉田 省三

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「<社会の持続可能性>と経済権力の規制」(単), 民主主義科学者協会法律部会編『法の科学』n. 46, 2015年9月.

<資料>

- ・「書評・Franco Mosconi (a cura di), “La metamorfosi del <<Modello emiliano>>. L’Emilia-Romagna e i distretti industriali che cambiano”, il Mulino, Bologna 2012.」(単), 『経営と経済』, 2016年3月.

<学会発表>

- ・「『国際的な感染症の脅威の高まり』と病原体実験施設の立地規制の緩和」(単), 日本科学者会議第32回九州沖縄シンポジウム, 長崎大学, 2015年12月5日.
- ・「L. ブルーニ, S. ザマーニの『市民的経済』『市民的企業』と持続可能な市場」(単), 民主主義科学者協会法律部会2016年春合宿研究会, 山中温泉河鹿荘ロイヤルホテル, 2016年3月28日.

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・公正取引委員会独占禁止政策協力委員, 2015年4月1日-2016年3月31日.
- ・長崎県弁護士会懲戒委員会, 委員, 2016年3月1日-2018年2月28日.
- ・雲仙市入札監視委員会, 委員長, 2015年5月28日-2017年5月27日.
- ・対馬市入札監視委員会, 委員長, 2015年8月1日-2017年7月31日.
- ・島原市入札監視委員会, 委員, 2015年4月1日-2017年3月31日.
- ・長崎市個人情報保護・情報公開審査会, 会長, 2014年4月1日-2017年3月31日.